

今季におけるインフルエンザについて

ここ数年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等の影響で、抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあることなどから、今季はインフルエンザの流行が起こりやすく、実際に、令和5年2月中旬以降定点あたりの報告数が直近5年間の同時期と比較して多い状態で推移しています。

・厚生労働省 令和5年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2023.html> <<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2023.html>>

発熱やのどの痛み、咳等の風邪症状があるときは、インフルエンザに罹患している可能性を考え、速やかに出校や外出を取りやめて自宅療養するようにして下さい。

予防のために

インフルエンザの予防には、新型コロナウイルス感染症予防と同様にマスク着用や手洗い、アルコールでの手指消毒、人ごみを避ける等の対策が有効です。

また、ワクチン接種は発症をある程度抑え、重症化を防ぐ効果があります。ワクチンの効果が十分に得られるまでは2週間、効果の持続は約5か月とされていますので、12月中旬までに接種を済ませることが推奨されますが、遅れてしまった場合、1月上旬の接種でも一定の効果は期待できます。

学生の皆さんへ

インフルエンザは学校感染症の一つであり、罹患した場合、**発症後5日間かつ解熱後2日間**を経過するまでの間、出席停止扱いとなります。課外活動の参加も控えてください。

インフルエンザが疑われる場合、または医療機関でインフルエンザと診断されたときは対面授業等には出られないので、保健センターに電話で連絡した上(042-580-8172)、担当教員にメールで連絡してください。